

伊集院保健所感染症情報

2024年第33週（令和6年8月12日～令和6年8月18日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症 管内警報発令：咽頭結膜熱、手足口病

定点医療機関【インフルエンザ5、小児科3、基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内				県		
	開始	終息	基準値	第30週	第31週	第32週	第33週	先週からの増減	第32週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	0.00	1.00	0.00	0.20	↗	0.34	↗
COVID-19	-	-	-	21.40	11.00	9.20	6.40	↘	9.43	↘
咽頭結膜熱	3	1	-	3.00	2.67	4.67	4.67	→	1.25	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	1.00	1.33	2.00	3.00	↗	1.35	↗
感染性胃腸炎	20	12	-	1.67	1.33	0.67	0.33	↘	3.37	↘
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.18	↗
手足口病	5	2	-	12.00	5.00	2.00	2.67	↗	6.59	↘
伝染性紅斑	2	1	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.06	↗
突発性発しん	-	-	-	0.33	0.00	0.00	0.00	→	0.39	↗
ヘルパンギーナ	6	2	-	1.67	1.33	2.00	1.33	↘	2.86	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.02	↘
RSウイルス感染症	-	-	-	4.00	2.67	4.33	2.33	↘	3.65	↘

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし、注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

● TOPIC エムポックスに関する情報提供（感染症エクスプレス@厚労省より引用）

国内で、2024年8月16日現在、248例の患者が発生しています。

※ 令和5年5月26日に「サル痘」から「エムポックス」に感染症法上の名称が変更されています。

8月14日（現地時間）にWHOはコンゴ民主共和国及びアフリカの複数国におけるエムポックスの感染拡大が「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」

（Public Health Emergency of International Concern (PHEIC)）に該当する旨を宣言しました。

エムポックスは2022年から世界中で流行が続いてきましたが、今回の宣言に至った主な理由は、世界的な流行を起こしたウイルス（クレードII）とは異なるクレードIがコンゴ民主共和国及び近隣諸国で拡大しており、新しい型（クレードIb）のウイルスが検出されているためです。

特に海外渡航者は、ご注意ください。

また医療機関においては、病気に対する相談があった場合、適切な対応をお願いします。

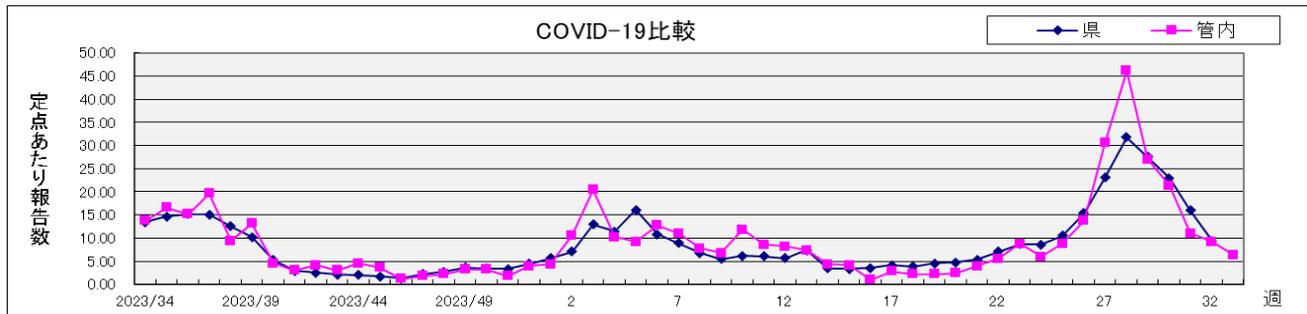
■詳細はこちら

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/monkeypox_00001.html



● 注意すべき感染症

● COVID-19（新型コロナウイルス感染症）



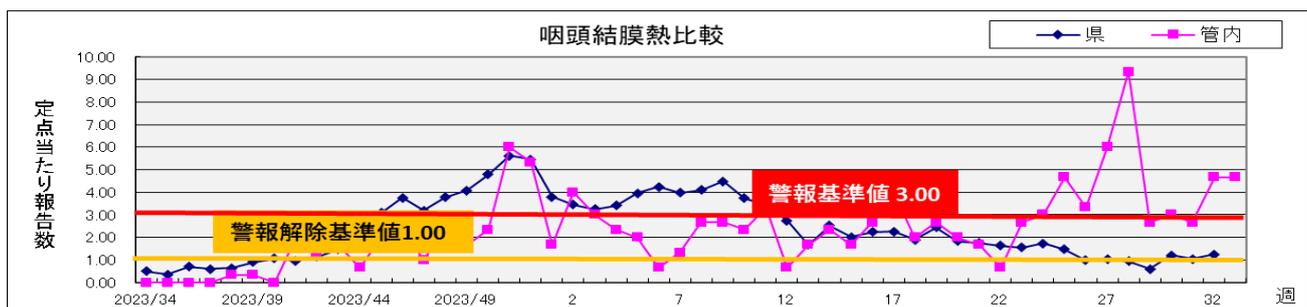
今週の伊集院保健所管内におけるCOVID-19の報告数は、前週の46人（定点当たり9.20）から14人少ない32人（6.40）でした。

年代別では0～11ヶ月（2人）、1～9歳（7人）、10～19歳（1人）、20～29歳（3人）、30～39歳（1人）、40～49歳（2人）、50～59歳（2人）、60～69歳（7人）、70～79歳（6人）、80歳以上（1人）と全年代において報告されています。

感染症予防のポイント

- ①咳エチケット（口・鼻を覆う）
 - ②「液体石けん・流水による手洗い」か「手指消毒」
 - ③換気（部屋の換気を定期的に行う）
 - ④集団生活の場では、共用部分の消毒
- 基本的な感染対策ができていないか見直しをしてみましょう。

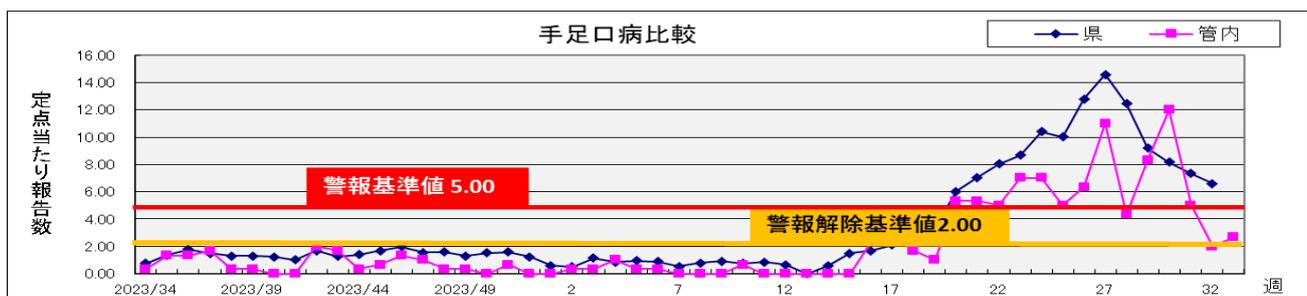
● 咽頭結膜熱（管内警報発令中！）



今週の伊集院保健所管内における咽頭結膜熱の報告数は、前週の14人（定点当たり4.67）と変わりない14人（4.67）でした。年齢別では、5歳（5人）、4歳（3人）、1・3歳（各2人）、2・8歳（各1人）でした。

咽頭結膜熱は、小児の急性ウイルス性感染症で、飛沫感染、あるいは手指を介した接触感染で拡大します。感染予防対策としては、タオルの共用はせず、感染者と密接な接触を避け、また流水と石けんによる手洗い、うがいを励行しましょう。

● 手足口病（管内警報発令中！）



今週の伊集院保健所管内における手足口病の報告数は、前週の6人（定点当たり2.00）から2多い8人（2.67）でした。年齢別では、1歳（4人）、3歳（2人）、2・4歳（各1人）の順に多い報告でした。

飛沫感染、接触感染、糞口感染（便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染すること）が知られています。感染予防対策としては、タオルの共用はせず、手洗いをしっかりしましょう。